

JICA 横浜 海外移住資料館

館報

2013 年度



はじめに

JICA 横浜 海外移住資料館は 2013 年 4 月、内閣府から歴史資料等保有施設として指定されました。これも本資料館設立準備段階から今日に至るまで、関係の皆様の資料収集、分析、保存、展示等に対するご支援、ご尽力の賜物であり、ここに深く感謝を申し上げます。

さて、2013 年度の当館来館者総数は 37,553 人を数え、うち教育プログラム参加者は過去最高の 6,803 名となりました。また、Web による当資料館ホームページへのアクセス数は統計を取り始めた 2004 年の 15,244visits から 2013 年には 163,928visits と 10 倍以上の増加となり、当館の認知度、有用度が急速に伸びている証左であると嬉しく感じております。

これは、当館の立地する横浜のみなとみらい 21 地区の整備状況とも関連しているものと思われ、同地区に年間来訪する 7200 万人の国内外の人々に、当館としてどのようなメッセージを発し、更にご活用頂くかが今後の大きな課題であると認識しております。次世代を担う若い人たちの数多く集う地区でもありますので、かれらに世界に雄飛した日本人の歴史と、世界に広がる日系社会の現在を伝え、将来に思いを馳せて頂くような機会を提供して行きたいと考えております。

2013 年度の当資料館の新しい試みとして、沖縄県と連携し開催した特別展「雄飛—沖縄移民の歴史と世界のウチナーンチュ」があります。年度を跨ぎ 3 月から 2 か月間開催致しましたが、お陰様で 1 万人を超える方々にご来場頂き、好評を博することができました。

また、海外移住の日にあたる6月18日には、学術委員である柳田教授（慶應義塾大学）のご尽力により構築された「ペルー日本人契約移民データベース（日本語版）」の開通式を、在京ペルー大使館および横浜市のご臨席のもとで行いました。当館と移住先国および自治体との連携を深める機会となりました。

2012年11月に開催した開館10周年を祝したシンポジウムでも確認されました移住先国の日系社会、博物館、資料館とのネットワークの強化のためにも、当資料館の日本国内の関係機関とのネットワークの強化が必要となります。当資料館が日本国内各地域との連携事業・活動を実施することにより、ひいては移住先国と日本国内の移住送出地域との関係性の再強化にも繋げて行きたいと考えている次第です。

最後になりましたが、皆様におかれましては、この度お届けする本館報をご一読頂き、今後の当館の取り組み、事業、活動の在り方等に対し、引き続きご指導、ご助言を賜りましたら幸いです。今後共何卒宜しくお願い申し上げます。

独立行政法人国際協力機構
横浜国際センター 所長
海外移住資料館 館長
小幡 俊弘

目 次

1.	展示イベント等.....	1
2.	情報システム.....	7
3.	資料等情報整備.....	9
4.	教育普及活動.....	10
5.	広報活動.....	16
6.	運営委員会及び学術委員会.....	18
7.	アンケート調査.....	20
8.	各種実績等.....	21

1. 展示イベント等

特別展示1 「海を渡った日本人町」展 ーアメリカ大陸の日本人町、日本町、日本人街、小東京ー

開催期間：7月19日（金）～9月23日（月）

開催期間中入館者数：7,612名

概要：日本人が渡ったアメリカ大陸には、日本人町、日本町、日本人街、小東京などと呼ばれた日本人集住地が多数あった。そこには様々な日本人経営店舗が存在し、まるで日本にいるかのような生活が営まれた。本展示では、日本人町の全容や店舗をとおして見た日系人の生活を紹介した。



展示の様子

特別展示2 「日系人と混血 -Hapa とメスチッソ-」

開催期間：11月15日（金）～12月28日（土）

開催期間中入館者数：3,698名

概要：日系人の混血も進む現在、「日本人の子孫」としての意識やアイデンティティはどのように変化してきているのかを、今回の展示で北米における Hapa（ハパ）、南米におけるメスチッソに注目し展示した。カリフォルニア大学キップ・フルベック教授の作品である “part asian・100% hapa” の中から日系人の写真 20 枚を展示。他にも日系人の混血に関する様々なデータやインタビュー映像などを紹介した。



展示の様子

特別展示 3 魁(さきがけ)～ハワイから渡った人々 ―浜野龍峰書のある空間から―

開催期間：1月18日(土)～2月16日(日)

開催期間中入館者数：2,223名

概要：書家浜野龍峰さんによる、縦3m、横2mの布10枚に埋め尽くされたハワイ移民の名字と、明治政府の許可を得ずに海を渡った、いわゆる「元年者」112人の名字が刻まれた篆刻作品による書のある空間。2010年にハワイ官約移民125年を記念して制作、ハワイで公開されたものとあわせて、当館が収蔵する、初期のハワイ移民の写真や、パスポートなどの資料を展示し、日本の海外移住の魁(さきがけ)となったハワイ移民について紹介した。



付帯イベント：浜野先生によるデモンストレーション・ワークショップ開催

実施日時：1月18日(土)～19日(日)

13:30～14:00 浜野龍峰デモンストレーション、14:00～15:00 書道ワークショップ

参加者数：ワークショップ受講者 18日19名、19日10名

概要：特別展示「魁(さきがけ)～日本からハワイへ渡った人々 ―浜野龍峰 書のある空間から―」開催に伴い、まず1階ロビーにて、書家浜野龍峰さんによるデモンストレーションを、その後会議室1にて書道のワークショップを開催した。



展示の様子

特別展示 4 雄飛-沖縄移民の歴史と世界のウチナーンチュ

開催期間：3月1日(土)～5月11日(日)

共催：沖縄県

展示監修：沖縄県立博物館・美術館

企画制作：公益財団法人 海外日系人協会

協力：沖縄県公文書館、沖縄県立博物館・美術館、沖縄テレビ放送株式会社、株式会社ビーエル、金武町教育委員会、特定非営利活動法人 AMDA 沖縄、那覇市歴史博物館、南風原町立南風原文化センター、琉球大学国際沖縄研究所

開催期間中入館者数：10,154名

概要：琉球王国として独自の文化を育んできた沖縄は、日本有数の移民県でもある。なぜ、沖縄は移民が多いのか。どこへ行ったのか。そして、新天地でどのように自らの文化を守り伝えてきたのか。



沖縄の海外移住の歴史を美しいビジュアルでわかりやすく解説するとともに、沖縄から海外へ「雄飛」し、故郷との絆を大切にしながら、さらに独自のネットワークを広げ、世界を舞台に活躍するウチナーンチュ（沖縄人）の現在の姿を紹介した。

付帯イベント：「雄飛ー沖縄移民の歴史と世界のウチナーンチュ」オープニングセレモニー

開催日時：3月1日（土）14:00～15:30

参加者数：28名

概要：特別展示オープンに先立ち、来賓をお招きし、オープニングセレモニーを開催した。

式次第：・主催者挨拶 JICA 横浜海外移住資料館館長 北中真人

・挨拶 沖縄県東京事務所所長 仲本朝久様

・特別展示室ご案内

・ミニイベント：エイサー演舞（横浜市鶴見区 潮風エイサー）



展示の様子

イベント1 子どもの日はカルタで遊ぼう（児童福祉週間）

開催日時：5月5日（日） 10:00～16:00

参加者数：1,830名

概要：子ども向けイベントとして、移民カルタを用いたイベントを実施。参加者をグループ分けし、展示案内ボランティアが読み札を読み、カルタ大会を実施した。当日午後はマジシャンにも来てもらい、移住した国の国旗にまつわるマジックも披露し来館者に好評を得た。

イベント2 学術担当による日系トークあれこれ第1回「日本人町」について

開催日時：5月25日（土） 14:00～15:00

参加者数：15名

概要：7月19日から9月23日まで開催予定の特別展について、学芸担当が画像を交えて紹介した。サンフランシスコの日本町、ロサンゼルスのリトル東京、サンパウロの東洋街など、その姿を特別展広報も兼ねて紹介した。

イベント3 「6月18日は海外移住の日」

開催期間：6月15日（土）、16日（日）、18日（火）10:00～18:00

概要：6月18日の「海外移住の日」を記念して以下のイベントを開催した。

●カルタで遊んでタイムスリップ！ 10:00～16:00

日本—ブラジル移民カルタを実施し、参加者には缶バッジをプレゼントした。

●上映会開催(ガイダンスホール)

(1)『誰も知らない日系アメリカ人の歴史』11:00～

(2)『南米の新天地』14:00～

●コーヒー試飲会 11:00～16:00

日系ブラジル人が作ったコーヒーの試飲会を開催。

●来館者全員へ下記の記念品をプレゼントした。10:00～18:00

・15日、16日 クリアファイル

・18日 クリアファイルと明治アグロフォレストリーチョコレート



イベント4 ペルー日本人契約移民データベース(日本語版) 開通式

開催日時: 6月18日(火) 9:30～15:00

概要: 在日ペルー大使館の公使参事官を招いてペルー日本人契約移民データベース(日本語版)の開通式を行った。公使による開通セレモニーを行い、データベースについて柳田利夫学術委員より説明した。

イベント5 ミュージアムクイズラリー2013

当館参加者数: 362名

概要: 当資料館を含む横浜・みなとみらい地区周辺の15の博物館が開催する「ミュージアムクイズラリーよこはま 2013」。毎年夏休み期間中に開催されており、本年度も実施した。

付帯イベント: ミュージアムツアー 7月25日(木)10:00-12:30

日本新聞博物館～当館コースのツアーを実施。広報期間が少なく1名の方に参加いただいたが、一度にいろいろなミュージアムを回れて解説も受けられると好評を頂いた。

イベント6 かながわ子ども・子育て支援月間 カルタで遊んでタイムスリップ!

開催日時: 8月3日(土)・17日(土) 10:00～16:00

参加者数: 40名

概要: 神奈川県保健福祉局が実施する「かながわ子ども・子育て支援月間」の一環として実施。移民カルタを利用して、日本人移住者の歴史や経験を楽しく学ぶ場を提供した。参加児童生徒に対し、資料館オリジナル国旗バッジをプレゼントした。



イベント7 子どもアドベンチャー2013

開催期間: 8月20日(火)・21日(水)

参加者数: 51名

概要: 横浜市教育委員会の実施する「子どもアドベンチャー2013」の一環として開催。移民カルタを利用して、日本人移住者の歴史や経験を楽しく学ぶ場を提供した。本イベントにおいても、参加児童生徒に対し、資料館オリジナル国旗バッジをプレゼントした。



イベント 8 Brasil Culture Festival 2013 横浜

開催日時：8月16日（金）～18日（日）

概 要：JICA 横浜が後援となっている本イベントへブース出展を行った。ブースではパネル 10 枚の展示及び資料の配布等を行った。

イベント 9 学芸担当による日系トークあれこれ第 2 回「日系人と混血-Hapa とメスチッソ」

開催日時：①10月26日（土）、②11月23日（金）14:00-15:00

参加者数：①台風のため中止 ②22 名

概 要：特別展示「日系人と混血-Hapa とメスチッソ」の関連イベントとして、会期前と会期中の 2 回、学芸担当者から分かりやすく解説する機会を設け、展示への理解を深める事を目的とし開催。会期前に行った 10 月 26 日の回は台風の影響で参加者が集まらず中止となったが、2 回目の 11 月 23 日には 22 名の参加を得た。ただ展示を見るよりずっと分かりやすく、理解を深める事ができた、と好評を得た。

イベント 10 第 6 回 宝島ハロウィン

開催日時：10月27日（日）11:00～15:00

参加者数：835 名

概 要：みなとみらい・新港地区で開催された第 6 回宝島ハロウィンラリーに当資料館もラリーポイントとして参加。仮装をして来館した子どもを対象に南米のお菓子を配布した。またワールドポーターズ前広場で実施された仮装コンテストにも審査員として参加し、「JICA 横浜 海外移住資料館賞」を一組に贈呈した。



イベント 11 第 3 回中南米横浜書道展

開催期間：12月3日（火）～12月27日（金）

会 場：JICA 横浜 1 階 展示スペース

概 要：中南米諸国で書道を学ぶ人々を対象に、日本で書の学習成果を発表する機会を提供し、日本語学習の意欲向上につなげることを目的とした書道展開催（主催：中南米書道展開催事務局）にあたり、出品作品の取りまとめ、資材提供、展示準備・撤収、ホームページ作成等の支援業務を行った。



イベント 12 みなとみらい 21 新港地区 いちごMAP

開催日時：1月31日（金）～2月28日（金）

会 場：JICA 横浜 4 階 かもめ

概 要：新港地区賑わい作り委員会主催で「いちごMAP」を制作、配布した。これは横浜赤レンガ倉庫が 1 月 31 日（金）～2 月 2 日（日）に実施した「Yokohama Strawberry Festival 2014」に絡め、同地区の賑わい創出のため実施。当館ではこの期間来館されたお子様に南米のいちごクッキーを配布した。



公開講座1 「“Breaking the Silence” 沈黙を破って」

開催日：8月11日（日） 15:00～16:30

講師：Stephen H. Sumida（ワシントン大学）、Gail M. Nomura（ワシントン大学）

受講者数：30名

概要：英語朗読劇「Breaking the Silence 沈黙を破って」は、19世紀末からハワイ、米本土へ移民した日本人が歩んできた当初の50年から、戦中、戦後を描いている作品。朗読劇に参加されている2名の講師に講演頂き、「とても分かりやすく印象的な講演だった」と好評を得た。



公開講座2 「多文化共生社会の変容—移民第二世代の活躍と日本人側の理解」

開催日：3月16日（日） 14:00～16:00

講師：池上 重弘（静岡文化芸術大学文化政策学部教授）

パネリスト：鈴木由香里 宮城ユキミ
（静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科2年）

受講者数：37名

概要：1990年の出入国管理及び難民認定法の改定後に急激に増加した外国人は、日本国内において生活のサポートが必要なマイノリティとして語られてきた。しかし、2008年のリーマンショックと2011年の東日本大震災は、彼らを取り巻く状況を大きく変化させた。本講座では、日本における「多文化共生社会」の変容について、「定住化の進展」「コミュニティの担い手としての外国人」そして「移民第二世代の活躍」をキーワードに、お話を伺った。当初は2月8日（土）「よこはま国際フォーラム」内で開催される公開講座として開催準備を行っていたが、当日大雪という悪天候のため、3月16日（日）に延期し実施した。



2. 情報システム

1) 情報展示ネットワークプロジェクト（情報展示）コンテンツ拡充

（1）移住資料デジタルネットワーク化プロジェクト

柳田利夫学術委員の指導の下、「ペルー日本人契約移民データベース」を活用した検索システムの構築に取り組み、「ペルー日本人移住資料館サイト」と合わせて一つのまとまりとしたペルー版「移住資料デジタルネットワーク化プロジェクト」サイトの製作を行った。本サイトは2013年4月3日の「日秘友好の日」にWEB公開した。なお、「ペルー日本人契約移民データベース」（日本語版）は、2013年6月18日の「海外移住の日」にあわせて公開を行った。



（2）特別展示サイト、所蔵資料閲覧サイト

2012年度開催した特別展示のうち、「ハワイに生きる日系人 ―受け継がれる日本の心―」について、展示内容、展示品等を紹介するサイト構築作業をすすめ、9月11日に公開した。「ペルーの日系人」に関しても公開に向けて準備を進めている。

なお、当資料館で所蔵している「中南米移住地写真集 1964」についても、閲覧サイトの製作・公開作業をすすめ、6月17日に公開した。



2) 情報検索システム

(1) 情報検索システム運用

図書資料室（海外移住）で実施される各種レファレンスサービスと連携し、当資料館の収蔵する資料について情報を整備し、情報検索システムを通じて館内、館外へ検索サービスを提供した。2013 年度末時点登録数：39,939 件（うち図書類：31,718 件、標本類ほか：8,221 件）。

URL: <http://search.jomm.jp/>

(2) 登録データの整備

2013 年度は既に登録されている書誌情報の修正、不足情報の追加等を行った。また、図書の複本処理を行い、データを統合させた。登録情報の照合・確認・修正件数は 412 件。

3) 海外移住資料館 web ページ新規コンテンツ

(1) 移住資料所蔵関係機関情報

国内及び海外における博物館、図書館、研究機関その他団体等のうち、「日本人の海外移住の歴史」に関する資料を所蔵・公開している機関について、情報提供するコンテンツを製作。移住資料所蔵機関の所在地、所蔵資料の概要、過去の展示実績等の情報を集約し、多くの皆様に提供することを目的としている。引き続き、関係諸機関の皆様より情報提供等のご協力をいただき、順次追加していく予定。

URL: <http://www.jomm.jp/shozokikan/index.html>



(2) JICA 横浜 海外移住資料館 研究紀要

当資料館で行われた学術研究の成果を広く社会に発信することを目的として、2006 年より刊行している「研究紀要」について、PDF 版を製作し、当資料館 Web ページにて公開した。3 月末現在、研究紀要 1 から 7 まで公開されている。

URL: <http://www.jomm.jp/kiyo/index.html>



3. 資料等情報整備

1) 資料の受入・収集

海外移住に関連する図書、標本等各種資料を寄贈、購入、取得等の方法で収集を行った。資料受入は 621 件。登録総件数は 42,713 件。

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	年度計
取得	1	4	1	55	61
購入	1	83	18	37	139
寄贈	5	138	272	6	421
移管	0	0	0	0	0
既存資料	0	0	0	0	0
寄託	0	0	0	0	0
受入合計	7	225	291	98	621

2) 資料の整理

(1) 海外移住事業に関する所蔵資料の整備（移住申込書データベース）

移住申込書の物理的整理作業が2011年11月に終了したことを受け、2012年度より移住申込書のデータベース構築作業が開始された。データ入力、確認作業を実施し、データ（文字情報、画像）の不備、修正等があった場合には、その都度実物資料と照合し、適宜修正等を行った。なお、本作業は慶應義塾大学文学部 柳田研究室にご協力いただいている。

(2) 海外邦字新聞の整理

当資料館で受入・収蔵している海外邦字新聞の整理作業に関し、今後の方針を柳田利夫学術委員の助言・指導のもと、検討を重ねた。その結果、2013年度より、海外邦字新聞のうち、まず「ペルー新報」を対象として、当資料館の収蔵状況及び国立国会図書館の収蔵状況確認を行い、当資料館では国立国会図書館に収蔵されていない号のみ、収集・保管することとした。

また当館所蔵の「ペルー新報」データベース化をすすめ、欠号以外のものに関しては全てデータ化する作業を行った。今後図書資料室にて閲覧可能となる予定。

「ペルー新報」をモデルケースとし、他の海外邦字新聞についても収集及び保管を行うこととする。

(3) 「歴史資料等保有施設」の指定

当資料館では「歴史資料等保有施設」登録に向けた条件整備をすすめ、2013年4月1日に公文書管理法施行令第5条第1項第4号に基づき、歴史資料等保有施設として内閣総理大臣の指定を受けた。

既に多くの所蔵資料を市民の皆様、学生、研究者等に活用いただいているが、このたびの指定を受け、引き続き、資料の整理及び保管並びに利用環境整備を進めていく予定である。

4. 教育普及活動

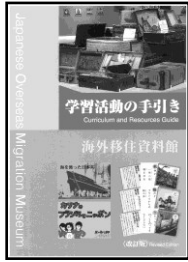
1) 教育プログラムの概要

海外移住資料館では、日系移民に関する資料の収集、保存、展示、研究活動のほか、設立趣旨にあるように移住者たちの足跡や役割について多くの人々に伝え、理解を深めてもらう役割を担っている。また、特に若い世代の人々に、多文化共生社会を生きる一員として、あるいは開発教育の視点からも、一人ひとりに移住者からのメッセージを受け止めてもらいたいとの思いから、開館当初より、教育普及活動に積極的に取り組んでいる。

現在、日本においても外国から多くの人々が移り住み、多文化社会が進展してきており「多文化共生」が教育の分野においても大きな課題になっている。そこで、日本人の海外移住の歴史と日系人の生活について展示を行っている当資料館では、そのような課題に応え、教育関係者を対象として、指導者向けの解説書である「学習活動の手引き」作成をはじめとし、教材開発やボランティアによる展示ガイド等、多様な教育プログラムを実施している。

今後、世界の移民人口はますます増加すると予想されている。このような21世紀の世界の中で、グローバルな価値の実現をめざして行動できる地球市民としての資質に加え、多文化社会の中で異なる文化を受容、尊重し、共生へ向けて行動できる市民としての資質という両方の育成が求められている。当資料館の教育プログラムを「共生にむけて」社会参加ができる子どもたちの育成のために活用いただければと考えている。

表：海外移住資料館の学習教材

【学習活動の手引き】無料配布 この手引きには、移民について学ぶことの意義が記され、その意義に沿った、海外移住資料館の展示及び各種教材を活用したいくつかの授業構想が含まれている。学校の先生方はもとより、NGO/NPO 関係の方々の授業づくりやワークショップの際の参考として利用できる。	
【移民カルタ】貸出可 日本人の海外移住の歴史、移住者の生活や心情、日本に住む日系人の生活や思いなど、子どもたちに知って欲しい移民に関するさまざまな事柄を、遊びを通して楽しみながら学ぶことができる。	
【日本-ブラジル移民カルタ】貸出可 このカルタは、単に日系ブラジル人の歴史や文化を学ぶだけではなく、日系ブラジル人の継承日本語教育の学習教材としても活用できるよう、日本語とポルトガル語の解説が併記されるなど、様々な工夫が凝らされている。(制作：移民カルタ研究会)	

【紙芝居】貸出可

絵や写真、そしてわかりやすい言葉で書かれた物語を通じ、移住者の歴史的経験や心情、日本に暮らす日系人の生活や思いを共感的に理解することができる。全4種類。

- （上段左）海を渡った日本人
- （上段右）カリナのブラジルとニッポン
- （下段左）ハワイに渡った日系移民
- （下段右）弁当からミックスプレートへ



【いみんトランク】貸出可

いみんトランクは、国際的な人の移動から多文化共生を学ぶことのできる教材として、また、日本と世界をつなげていく教材として、移民に関する授業や事前学習のサポートを目的に貸し出ししている。移住者の歴史や経験、貢献などにかかわるハンズオン教材として、以下の教材を用意している。

- ・野菜山車（画像・トピックシート有）
- ・ハワイ移民労働着
- ・弁当缶
- ・笠戸丸画像
- ・パールハーバー当日の新聞
- ・太平洋戦争終戦を伝える新聞
- ・さとうきび
- ・ミックスプレート（トピックシート有）
- ・移住斡旋ポスター
- ・ジュート
- ・コショウ
- ・綿花
- ・コーヒー
- ・アマゾンで栽培されている野菜
- ・アマゾンや日系人の貢献に関する情報（資料）
- ・アマゾンを守るエコ農法（朝日新聞記事）
- ・アマゾン移住に関する概要・年表（資料）
- ・サクラ醤油
- ・ハワイ盆踊り手ぬぐい
- ・ロコモコ（トピックシート有）
- ・スパムセット
- ・Tシャツ（日系コミュニティのイベント等で使用されたもの）
- ・ブラジルの和菓子（まんじゅう、あんぱん、詰め合わせ、もち、金澤製菓画像。トピックシート有）
- ・ブラジル南米神宮のお守り（南米神宮画像、トピックシート有）
- ・外国人登録者数推移（資料）
- ・世界地図
- ・ハワイのビッグファミリー（画像）



【ハワイ移民労働着：ハナハナウェア】



【ミックスプレート、弁当缶、さとうきび】



【パールハーバー当日の新聞】

これらの教材を実際見て、手に取ることで、日本人移民の歴史と経験について何かを感じ取り、学習効果が高まることを期待している。 なお、トピックシートに関してはホームページ上からダウンロード出来るよう対応した。	 【ブラジルの和菓子】
【定点解説キット】 日本からの移住者が運んだトランクを再現したもの、当時の移住先国での暮らしを紹介するものなど、10のキットがある。直接体験を通して展示をより実感して理解することが可能となる。本キットは、常設展示案内時に使用している。 ・サトウキビ畑の生活・仕事（麦わら帽子、手ぬぐい地の帽子、軍手、写真パネル等） ・ミックスプレート（写真パネル） ・スーツケース（写真カード入小箱、トランク等） ・移住物語（写真アルバム、複製パスポート） ・花と製品あてゲーム ・農作業具（写真パネル） ・日系商店（萬屋の品揃えアルバム、エプロン等） ・日系人の食卓（写真アルバム） ・イグアス（空撮写真、アルバム等） ・宝さがし（中高生向写真カード、ゾーンマップ）	
【映像教材】貸出可 日本人の海外移住の歴史に関する映像教材。以下6種類は貸出も行っている。 ①DVD「子供たちの百年 ブラジルに渡った少年少女は、今！」 ②DVD「アマゾンに挑んだ草創の日本人」 ③DVD「JICA 横浜 海外移住資料館」 ④DVD「夢と希望を運んだ船 ～移住船での暮らし～」 ⑤DVD「海外移住資料館」 ⑥DVD「誰も知らない日系アメリカ人の歴史」※ ※本映像教材は『二つの祖国で・日系陸軍情報部』などで知られるすずきじゅんいち監督より寄贈を受けた。	
【パスポート】 当館概要、海外移住の歴史、ワークシート、来館記念スタンプ用紙などを一つの冊子にまとめ、作成した。学生はもとより一般来館者へも配布し、展示のねらいに即した見学を支援するとともに、見学後、見学した内容を簡単に振り返る事が出来るよう工夫した。	
【パワーポイント教材】 海外移住の歴史、移住者の貢献、経験、さらに日本における在日外国人の状況にも思いを寄せられる内容となっている。対象は小学生以上。1時間以上の見学時間を予定している学校関係者を中心に、要望に応じて活用している。	

2) 教育プログラムの実施

教育機関の団体入館児童・生徒、学生を主な対象として、ガイダンス（概要説明）、パスポートや学習教材を使用したプログラム、質問事項への対応等を実施した。本年度の教育プログラム実施件数は170件、総受講者数は6,803名となった。四半期毎の実施教育機関は以下のとおり。



【教育プログラム実績】

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
件数	56	37	51	26	170
総受講者数	2,186	1,449	2,427	741	6,803

※件数は、実際にプログラムを実施した数。同じ教育機関が複数回受講したケースも有り。

【教育プログラム受講教育機関】

(1) 第1四半期：

（**中学校**）相馬市立中村第一中学校、新潟市立坂井輪中学校、仙台市立広瀬中学校、仙台市立沖野中学校、平塚市立太洋中学校、横須賀市立北下浦中学校、横須賀市立浦賀中学校、岐阜市立東長良中学校、平塚市立金目中学校、横須賀市立武山中学校、奈良県田原本町立北中学校、川越市立川越西中学校、横浜市立大綱中学校、福井県南条郡南越前町立今庄中学校、平塚市立旭陵中学校、明星学苑 明星中学校（**高等学校**）関東学院高等学校、神奈川県立神奈川総合高等学校、東京都市大学等々力高等学校、横浜市立横浜商業高校、市原中央高等学校、香川県立飯山高等学校専攻科、神奈川県立相原高等学校、長野県立下諏訪向陽高等学校（**大学**）早稲田大学、神奈川県立保健福祉大学、共立女子大学、目白大学、明治大学ア・ミュージアム、多摩大学、大妻女子大学、恵泉女学園大学、立教大学、東京都市大学、神奈川県立国際言語文化アカデミア

(2) 第2四半期：

（**小学校**）横浜市立いちよう小学校、横浜市立いちよう小学校、横浜市立飯島小学校（**中学校**）川崎市立はるひ野中学校、横浜市立南高等学校附属中学校、横浜市立南高等学校附属中学校、横浜市立笹下中学校、宮城教育大学附属中学校、（**高等学校**）神奈川県立大磯高等学校、神奈川県立緑ヶ丘高等学校、東京都立大島海洋国際高等学校、神奈川県立横浜国際高等学校、横浜隼人高等学校国際語科、神奈川県立湘南高等学校、神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校、（**大学**）常葉学園大学、筑波大学、大妻女子大学、人総研、人文研プロジェクト講座、松蔭大学（**その他**）茨城県ブラジル人学校オブソン、茨城県ブラジル人学校エドウカーレ

(3) 第3四半期：

（**小学校**）横浜市立川上小学校、横浜市立いずみ野小学校、横浜市立藤が丘小学校、横浜市立篠原西小学校、横浜市立南舞岡小学校、横浜市立本町小学校、横浜市立下永谷小学校、横須賀市立根岸小学校（**中学校**）大谷学園 横浜隼人中学校、逗子開成中学校、聖セシリア女子中学校、世田谷区立船橋希望中学校（**高等学校**）清泉女学院高等学校、川崎市立橘高等学校、高知県立高知丸の内高等学校、神奈川県立寒川高等学校、東京都立稔が丘高等学校、神奈川県立上溝高等学校、東京都立雪谷高等学校、神奈川県立鶴見総合高等学校、北豊島学園北豊島高等学校（**大学**）早稲田大学アジア太平洋研究科、大妻女子大学、恵泉女学園大学、お茶の水女子大学グローバル協力センター、明治学院大学、常葉大学、多摩大学グローバルスタディーズ学部、東京学芸大学、和光大学（**その**

他) 国際交流基金日本語国際センター、米州開発銀行 (IDB) 関係者

(4) 第 4 四半期 :

(小学校) 横浜市立港北小学校 個別支援学級 (中学校) 神奈川県立相模原中等教育学校 (高等学校) 横須賀学院高等学校、クラーク記念国際高校 所沢キャンパス、神奈川県立氷取沢高等学校、神奈川県立光陵高等学校 (大学) 横浜市立大学、(その他) 行方市高校生会

【プログラム例 大学生向け (2 時間)】

- ① 日本人の海外移住史概要
- ② 在日ブラジル人・デカセギ・日系ブラジル人に関する概要説明
- ③ 日本人の海外移住の歴史と海外日系コミュニティに関する講義



【プログラム例 高校生向け (2 時間)】

- ① 日本人の海外移住について解説
- ② ハワイと日系人に関する概要説明
- ③ 移住の歴史と在日日系人について講義
- ④ パスポートを活用した資料館見学

【プログラム例 中学生向け (1.5 時間)】

- ① 日本人の海外移住、横浜と海外移住との関わりについて解説
- ② パスポートを活用した資料館見学



【プログラム例 小学生向け (30 分~1 時間)】

- ① カルタで宝探し (カルタにある資料を探し解説を受ける)
- ② パスポートを活用した資料館見学

3) ボランティア管理運営

(1) ボランティア活動の概要

当資料館では、以下の業務をボランティアが実施している。

① 展示案内ボランティア活動 (ガイドボランティア)

常設展示室、企画展示室内での展示案内を中心に活動している。2013 年度末時点で、登録者数は 20 名。なお、展示案内ボランティアの配置状況は以下のとおりとなっている。

- ・ 第 1 四半期 : 279 人配置 (77 開館日、平均 3.5 人配置)
- ・ 第 2 四半期 : 254 人配置 (79 開館日、平均 3.3 人配置)
- ・ 第 3 四半期 : 258 人配置 (76 開館日、平均 3.4 人配置)
- ・ 第 4 四半期 : 242 人配置 (74 開館日、平均 3.3 人配置)

② 資料整理ボランティア活動 (サポートボランティア)

当資料館のイベント開催時のスタッフとして、また収蔵資料整理業務において各種作業

に携わっている。2013 年度末時点で、登録者数は 10 名。

(2) ボランティア研修会等の実施

当資料館では、ボランティアのスキルアップを目的とした研修を実施している。また、ボランティアの意見を反映し、活動を円滑に進めていくために、以下のとおり連絡会議を実施。今後の活動について意見交換を行った。2013 年度はそれぞれ以下のとおり実施した。

① ボランティア研修会

・群馬県邑楽郡大泉町視察

日時：5 月 27 日（月）

参加者：14 名

・「当館所蔵の海外日系アメリカ文芸資料について」

日時：11 月 12 日（火）

担当：桑井 輝子氏（海外移住資料館 学術委員）

参加者：15 名

・ホスピタリティ研修

日時：2 月 27 日（木）

担当：佐田 宏氏（ホスピタリティ教育研究所）

参加者：16 名

② ボランティア連絡会議

・第 1 回 5 月 27 日実施 参加者：14 名

・第 2 回 7 月 17 日実施 参加者：15 名

・第 3 回 11 月 12 日実施 参加者：15 名

・第 4 回 2 月 27 日実施 参加者：16 名

5. 広報活動

1) 広報紙「海外移住資料館だより」発行

当資料館広報紙として「海外移住資料館だより」を、2013年度は5回発行。巻頭特集、海外移住探検隊などの各コーナーでは、特別展示等に関わりの深い内容を取りあげ、展示及び収蔵資料を紹介するだけでなく、その他関連の話題を紹介。発行部数 10,000 部。

主な配布先は、都道府県国際交流課及び国際課、教育委員会や、各国大使館、図書館、博物館、神奈川県立高校、横浜及び川崎市内小中学校、国際教育研究協議会加盟校、外国人集住都市の国際交流協会など、約 2,500 件。その他、常設展示スペース等で随時配布している。

No.	発行	コンテンツ
30	2013 年 7 月	特集 海を渡った日本人町ーアメリカ大陸の日本人町、日本町、日本人街、小東京／～海を渡ったブラジル人町～群馬県大泉町をリベルダーデ東洋街の逆バージョンに！／海外移住資料館へようこそ！
31	2013 年 11 月	特集 ニッケイ人って“何”？日系人と混血ーHapa とメスチッソー ～20 枚のパネルにみる日系人のメッセージ／ふるさと福岡へようこそ！第 8 回海外福岡県人会世界大会開催
32	2014 年 1 月	特集 魁(さきがけ)～日本からハワイへ渡った人々ー浜野龍峰 書のある空間からー／TOPICS
33	2014 年 2 月	特集 雄飛ー沖縄移民の歴史と世界のウチナーンチュ／インタビュー「沖縄は僕の一部」ジェイク・シマブクロさん／ワッターウチナーンチュ！
特集号	2014 年 3 月	特集 教育キット「いみんトランク」で資料館を一周してみよう！海外移住の歴史から多文化共生まで／貸出教材のいろいろ



2) 一般広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当資料館の入館者数増を目指し、地域で行われるイベント等への参加、広報媒体への掲載など、以下のとおり実施した。

(1) 広報媒体の活用

横浜高速鉄道みなとみらい線馬車道駅ホームに電飾看板掲出(1年間)、同みなとみらい駅改札コンコース内インフォボードに広告掲出(9か月間)／市交通局観光周遊バス「あかいくつ」車内モニター広告掲出(1年間)

(2) 外部媒体への掲載

神奈川新聞／東京新聞／読売新聞／朝日新聞／毎日新聞／産経新聞／ヨコハマ経済新聞／埼玉新聞／東愛知新聞／福井新聞／日本教育新聞／全私学新聞／サンケイリビング新聞・横浜南版&横浜東版／琉球新報／メトロガイド／関東レク情報／横浜市・神奈川新聞 雑誌「横濱」／横浜市中区版広報誌／シニアだより横浜／Mirea／横浜ベイシティ交通マップ／移動教室年鑑／歩く地図 鎌倉・横浜散歩／東京 weekender／Bem Vindo!／区老連なかく／URBAN／神奈川県産業労働局観光商業部観光課広報誌／ラジオ日本ヨコハマラジアンヌスタイル／はまれぽ.com

3) 開催広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当資料館常設展示及び企画展示、特別展示、公開講座、その他イベントに関する広報活動を積極的に行うため、広報素材作成と頒布、表示類の作成、プレスリリースの配信等、適宜開催広報を行った(NHK 横浜支局、TBS ラジオ、TVK、横浜ウォーカー、東京一週間、シティリビング、リビング横浜東、神奈川新聞、毎日新聞、読売新聞、朝日新聞、県政記者クラブ、横浜市政記者室、ニッケイ新聞、サンパウロ新聞、全私学新聞、各種イベント広報 web サイト等)。また近隣博物館、商業施設等へ、広報物の掲出・設置等依頼した。

4) 海外移住資料館「友の会」

海外移住資料館「友の会」は、「日本の海外移住の歴史」や「日系人」、「多文化理解・共生」などのテーマに興味・関心のある方々へ関連情報を発信するとともに、当資料館利用者数の増加を図ることを目的に設立された。

活動内容は当資料館で実施する事業やイベントの案内、海外移住の歴史や日系人、多文化理解といったキーワードに関連する情報の発信等となっている。

情報発信のツールとして、メールマガジンを利用し、2013 年度は計 12 回配信した。メールマガジンは月 1 回の配信を基本とし、イベント開催等に併せて随時号外を配信している。

会員登録には、メールマガジンの配信登録を利用し、2013 年度末時点で、友の会会員は DM 会員：178 名、メール会員：552 名となった。

6. 運営委員会及び学術委員会

1) 運営委員会

海外移住資料館の運営方針、事業計画、学術事項等運営に関する重要事項について専門的な見地から議論・検討することを目的とし、運営委員会を設置している。

2) 学術委員会

海外移住資料館における学術研究に係る企画・実施協議・評価・交流を行うことを目的として、2006 年度に海外移住資料館学術委員会を設置した。同委員会は、学識経験者、JICA 横浜所長（海外移住資料館長）、JICA 横浜市民参加協力課課長（海外移住資料館運営担当部署）により構成される。

【2013 年度 学術委員会開催】

- ・第 1 回学術委員会（6 月 20 日）
- ・第 2 回学術委員会（10 月 4 日）
- ・第 3 回学術委員会（1 月 30 日）

【2013 年度 学術委員】

委員長	飯野正子	津田塾大学理事長
委員	石川友紀	琉球大学名誉教授
	糸井輝子	白百合女子大学教授
	島田法子	日本女子大学名誉教授
	中牧弘允	吹田市立博物館館長、国立民族学博物館名誉教授
	森茂岳雄	中央大学教授
	柳田利夫	慶応義塾大学教授
	山本 匡	東京工業大学大学院特別研究員
	北中真人	JICA 横浜所長（海外移住資料館長）
	玉林洋介	JICA 横浜次長
	浅見栄次	JICA 横浜市民参加協力課課長

3) 学術研究プロジェクト

学術委員会において企画・検討された以下の 2 プロジェクトが、2012 年度より 3 年間実施されることとなり、本年度は 2 年目の実施となる。学術研究プロジェクトの研究概要は以下のとおり。

(1) ニッポンの伝統、ニッケイの祭りー日本文化の伝承と変容と女性の役割を基軸に

概要：資料館開館 10 年の節目に、現在の常設展示のあり方を再考する必要がある。本プロジェクトは常設展示の充実、とくに現在の日系コミュニティに関わる展示の充実を念頭におきつつ、祝祭行事に注目して、日本の伝統の継承と変容を現地調査し、その歴史的、社会的、文化的意味を考察する。

【プロジェクトリーダー：糸井輝子（白百合女子大学教授）】

(2) 移住資料ネットワーク化プロジェクトの充実と拡張

概要：海外移住資料館では、日本国内及び世界各国の日本人の海外移住をテーマにした博物館・資料館等と連携し、それらのハブ機能としての役割を持つべく「移住資料ネットワーク化プロジェクト」をすすめてきた。本プロジェクトはその作業を更に充実、拡張するための基礎的な情報を収集し、解決すべき諸問題（情報公開と個人情報保護、日系社会の世代交代、デジタル技術の発展と情報環境の変化など）について、専門家を招いて研究会を開催し、学術的な研究を深めるとともに、その結果と成果とを、最終的には資料館の業務へと繋げてゆくことを目的とする。

【プロジェクトリーダー：柳田利夫（慶應義塾大学教授）】

4) 研究紀要の発行

当資料館で行われた学術研究の成果として、研究紀要第8号を発行した（2014年3月発行）。論文題目等は以下のとおり。

『研究紀要 第8号』

【論文】

ペルー日系社会における「和食」とアイデンティティ
—「日系食」、「ニッケイ料理」、「ニッケイ・フュージョン料理」—
慶應義塾大学教授 柳田 利夫

【研究ノート】

ニッポンの伝統、ニッケイの祭り
— 日本文化の伝承と変容：トロント仏教会のお正月行事・料理 —
津田塾大学理事長 飯野 正子

旧カフエーパウリスタ箕面店が提起する問題
吹田市立博物館 館長／国立民族学博物館名誉教授 中牧 弘允

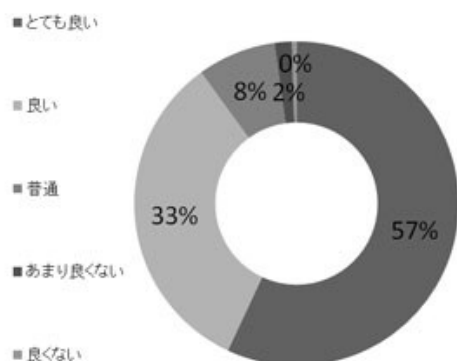
「在米同胞の歌」考
白百合女子大学 教授 桑井 輝子



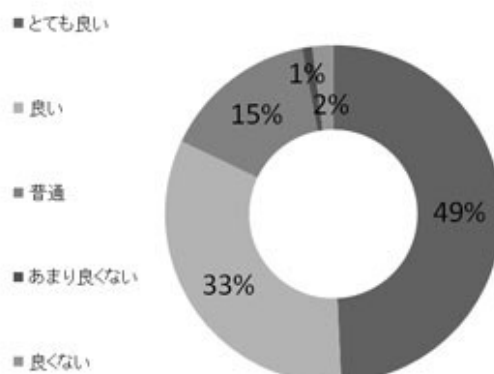
7. アンケート調査

当資料館の常設展示入館者を対象に利用者アンケートを実施。設問は「展示内容について」「展示ガイドによる展示解説について」「受付での対応について」「海外移住資料館だよりの記事内容について」等を設定した。回答総数は 241 件。5 段階で評価いただいたが、すべての設問において、「とても良い」「良い」をあわせた回答が全体の 8 割以上を占め、おおむね良好な回答を得た。

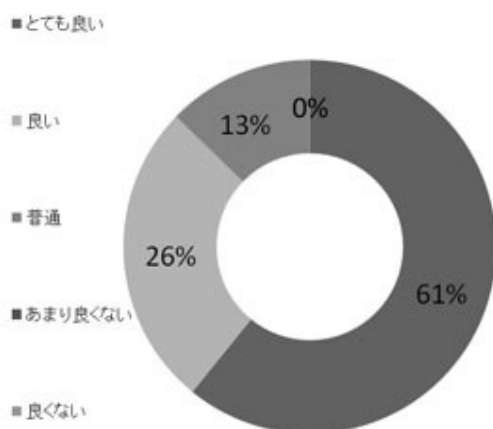
展示の内容



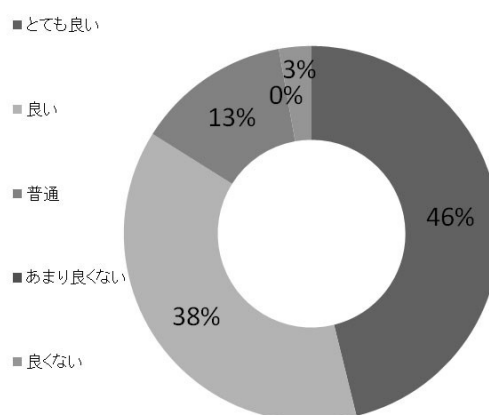
展示ガイドによる展示解説



受付の対応



海外移住資料館だよりの記事内容について



8. 各種実績等

1) 海外移住資料館関連グッズ販売の実績

当資料館では、所蔵資料を活用し、絵葉書（17 種、7 月より 7 種追加）、ストラップ、移住船模型（4 種）、国旗缶バッジ（15 種）の制作・販売を行っている。販売実績については以下のとおり。

	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
絵ハガキ（17 種）＊	236	261	261	342	701
ストラップ（オリジナル・十二支）	375	484	484	457	154
移住船模型	9	24	24	4	6
国旗缶バッジ	—	339	339	589	723

＊本年 6 月までは 10 種での販売

2) 地方自治体が行う多文化共生社会の実現に向けた取組への協力

栄区役所が実施する職員研修において、2 月 26 日に依頼を受け当資料館にて実施。これら研修においては、当資料館常設展示室見学を軸に、移住者／日系人の歴史背景や、在日「日系」南米人の現況などを説明。JICA 横浜国際センター及び海外移住資料館の存在意義・利用価値について、自治体からの評価が定着してきているものとみられる。

3) 各種実績

2013 年度業務実績一覧

2013. 4～2014. 3

常設展示スペース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
入館者数	2,615	6,168	3,515	2,828	3,681	2,748	3,656	3,298	2,268	2,095	1,921	2,760	37,553
(前年同比)	81%	138%	130%	120%	95%	78%	95%	135%	105%	92%	67%	100%	125%
一般	2366	4835	2294	2396	3999	2459	2745	2209	2000	1966	1751	2440	30,860
学校関係	249	1333	1221	432	282	289	911	1089	268	129	170	320	6,693
15歳未満	261	1481	912	322	717	430	960	646	281	188	245	346	6,789
15歳以上	2354	4687	2603	2506	2964	2318	2696	2652	1987	1907	1676	2414	30,764
個人	2226	4646	2103	2029	3328	2214	2578	1964	1831	1838	1565	2260	28,582
団体	389	1522	1412	799	353	534	1078	1334	437	257	356	500	8,971
											※開館からの累計:		339,885

教育プログラム実施	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
実施件数	12	21	23	17	13	7	20	22	9	8	7	11	170
実施対象人数	327	765	1,094	721	386	342	933	1,293	201	177	141	423	6,803

照会対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
対応件数	20	28	21	40	43	32	25	20	26	26	21	22	324
JICA	0	3	0	1	0	2	0	1	2	0	0	0	9
教育機関	1	3	1	4	3	0	0	2	1	1	1	7	24
国内団体	0	0	1	5	4	2	3	1	0	0	2	1	19
個人	17	16	16	23	29	21	17	14	22	20	16	10	221
自治体	1	0	0	3	1	0	0	0	1	1	0	2	9
制作会社・マスコミ	1	6	3	4	6	7	5	2	0	4	2	2	42
国外団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

図書資料室(海外移住)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
入室者数	234	317	225	197	287	161	199	174	228	200	170	192	2,584
(前年同比)	109%	120%	155%	124%	107%	66%	92%	90%	100%	89%	83%	83%	100%
一般	76	71	72	73	143	72	68	66	52	44	37	58	832
マスコミ等	4	5	7	6	11	3	13	10	15	4	4	10	92
JICA関係(業務)	85	111	115	115	133	86	102	95	116	106	114	94	1,272
JICA関係(研修)	69	130	31	3	0	0	16	3	45	46	15	30	388

資料受入件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
資料受入件数	0	0	7	38	123	64	239	21	31	36	41	21	621
(うち取得)	0	0	1	0	3	1	0	1	0	11	40	4	61
(うち購入)	0	0	1	2	19	62	0	8	10	21	0	16	139
(うち寄贈)	0	0	5	36	101	1	239	12	21	4	1	1	421
(うち移管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(うち既存資料)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(うち寄託)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所蔵登録総件数	40,902	40,902	40,909	40,947	41,070	41,134	41,373	41,394	41,425	41,461	41,502	41,523	

webページアクセス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
Visits(訪問者数)	11,619	12,200	13,090	14,297	14,492	15,508	14,224	13,637	14,231	13,416	13,077	14,137	163,928
(前年同比)	100%	89%	108%	113%	114%	123%	104%	108%	115%	94%	99%	104%	106%
Pages(利用数)	32,738	36,907	38,470	43,141	40,375	37,500	36,706	35,056	39,094	35,460	32,172	37,490	445,109
Files(情報提供数)	117,568	128,884	145,175	154,662	149,780	139,619	145,872	137,030	142,141	161,988	148,790	155,698	1,727,207

情報検索アクセス数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
Visits(訪問者数)	502	492	487	621	528	609	462	585	821	613	618	633	6,971
(前年同比)	77%	67%	87%	90%	79%	106%	76%	85%	130%	99%	107%	97%	91%
検索件数	756	1,059	481	827	564	483	860	562	782	858	750	673	8,655
(前年同比)	118%	80%	39%	110%	275%	2%	56%	83%	88%	221%	100%	78%	93%

JICA 横浜 海外移住資料館 館報
2013 年度

**発 行：独立行政法人国際協力機構横浜国際センター
海外移住資料館**

発行年月：2015 年 3 月

問い合わせ先

JICA 横浜 海外移住資料館

〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 2-3-1

Tel 045-663-3257 / Fax 045-211-1781

Web : <http://www.jomm.jp> E-mail : info@jomm.jp

